

# 記入例

## 蟻害・腐朽検査診断報告書

下記の建物に関して、蟻害及び腐朽の検査・診断を行った結果は、この蟻害・腐朽検査診断報告書のとおりです。

記

建物の所在地 神奈川県横浜市 (市区町村までを記入のこと)

検査年月日	平成 年 月 日	← 検査日 記入
蟻害・腐朽検査員氏名	(検査員氏名を記入)	
蟻害・腐朽検査員登録番号	( ) - ( ) <small>都道府県</small> - ( ) - ( )	← 検査員登録 番号を記入
所属事業所	(所属事業所を記入)	
所属事業所 住所・連絡先	〒 (所属事業所住所・連絡先を記入)  電話番号：  FAX：	

提出日：平成 年 月 日

↑  
提出日を記入



建物概要写真※

・写真にはNo.を付記し、間取図にて撮影方向を明記すること（2～4枚程度）



写真 No.1 東側外観



写真 No.2 南側外観



建物概要写真※

- ・写真にはNo.を付記し、間取図にて撮影方向を明記すること（2～4枚程度）



写真No. 3 玄関周り

建物各部の構造および敷地・床下環境

基礎※

基礎構造	布基礎 べた基礎 布基礎+土間コン打ち その他 ( )
床下換気口	切り欠き型換気口 ねこ土台 それらの併用
基礎外周部の換気口	個数 11ヶ所

各部構造※

屋根形状	切妻 寄棟 入母屋 その他 ( )
屋根葺材	瓦 スレート 金属板 その他 ( )
外壁仕上	1階部分: モルタル 2階部分: モルタル 3階部分:
浴室の形式	ユニットバス 在来浴室 在来浴室の各部仕上 床: タイル 壁: タイル 天井: バスリフ

敷地・床下環境

通風状態	良い 普通 悪い 不明
土壌の湿気具合 (土壌露出の場合必須)	乾いている 作業服が少し濡れる 作業服から下着まで濡れる
土壌のカビ・キノ コ・雑草 (土壌露出の場合必須)	生えていない 生えている (カビ) キノコ 雑草 その他 ( )
不快害虫の発生状況	発生していない 発生している (ナメクジ カマドムシ ゲジゲジ クモ ムカデ ゴキブリ クロアリ アカアリ その他 ( )

シロアリの羽アリの発生状況※

羽アリ飛来の有無・ 時期	飛来なし 飛来あり (飛来時期 6月頃)
羽アリの発生	なし 建物外周 ベランダ 玄関 勝手口 浴室 その他 ( )

シロアリの喰害および腐朽・カビの状況検査結果※

シロアリの種類	被害なし ヤマトシロアリ イエシロアリ 乾材シロアリ ( )		
	シロアリの喰害状況		腐朽・カビの状況
建物外周囲 (庭木・木柵)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 ( 庭木 ) ( ) ( )	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 ( ) ( ) ( )	
建物の外壁等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 ( ) ( ) ( )	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 ( ) ( ) ( )	
[室内]壁・床・建具・家具	食害なし 食害あり 不明 部屋名 ( ) 食害のあった部材 ( ) ( ) ( )	なし あり (腐朽 カビ 不明) 部屋名 ( ) 被害のあった部材 ( ) ( ) ( )	
[小屋組・天井] (梁・桁・母屋・垂木)	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 ( ) ( ) ( )	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 ( ) ( ) ( )	
[床下]床下木部等	食害なし 食害あり 不明 食害のあった部材 ( 大引 (台所) ) ( 根太 (台所) ) ( ) ( ) ( )	なし あり (腐朽 カビ 不明) 被害のあった部材 ( 大引 (台所) ) ( 根太 (台所) ) ( ) ( ) ( )	

全体所見※

台所床組の大引と根太の一部にシロアリ被害が見られた。

シロアリは生息しているが、被害箇所の補修が必要である。

また、和室床下の束石に蟻道が構築されていたが、被害は根がらみのごく一部に限られている。継続して経過を観察していくことが必要である。

浴室は基礎で囲まれていて検査不能であったが、手前の洗面所床下は健全を保っていた。



シロアリの喰害および腐朽・カビの状況現況写真※

・写真にはNo.を付記し、被害部材および状況を記入のうえ間取図にて撮影方向を明記すること



写真4 台所大引の蟻害



写真5 台所大引の蟻害



写真6 台所根下の蟻害

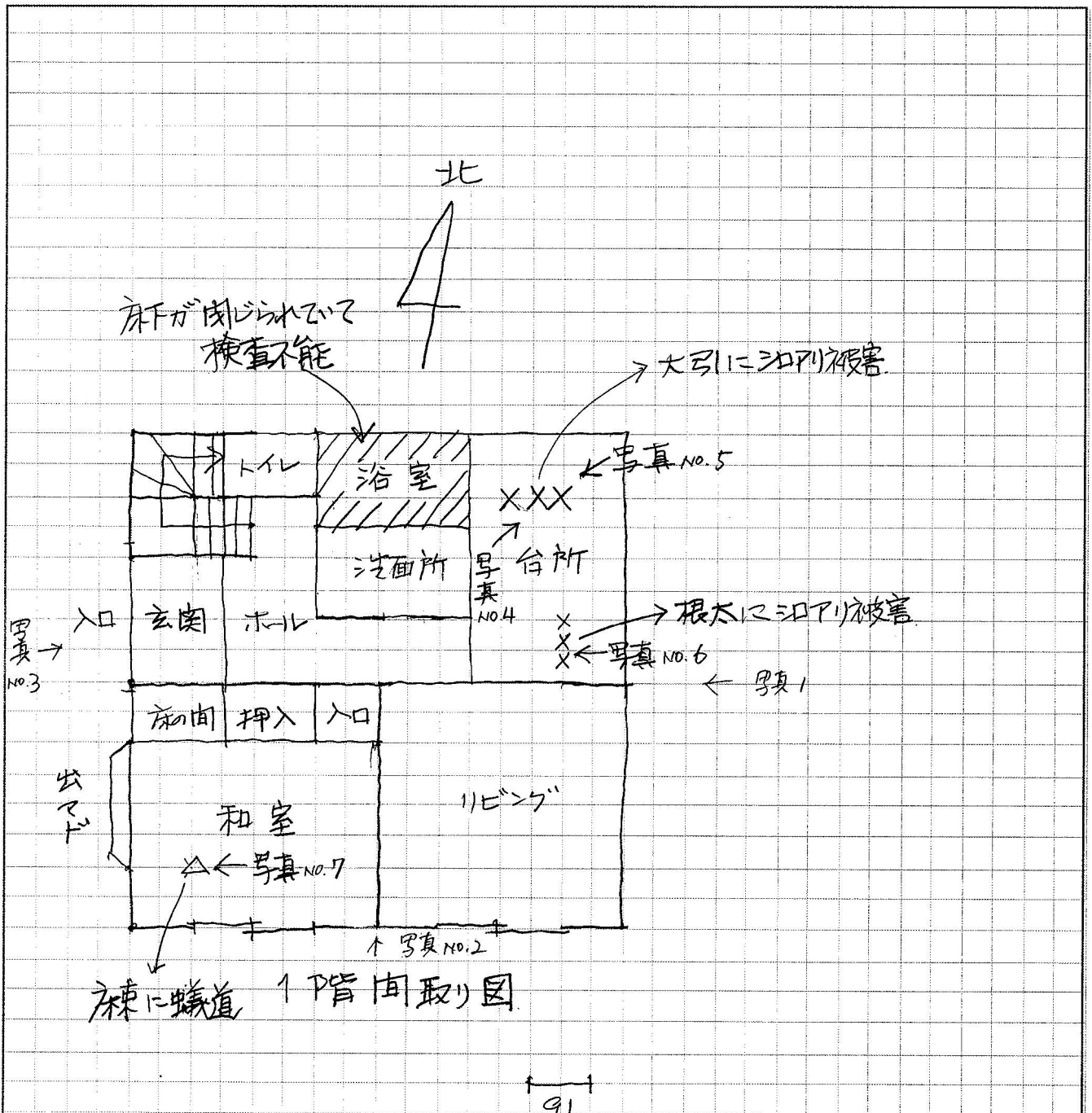


写真7 和室東石の蟻道



# 被害状況を記入した間取図

- ・記入例を参照の上、方角および写真No.および撮影方向、検査不能箇所、縮尺を必ず記入のこと
- ・被害のあった階の間取図を記入のこと



## 間取図記入上の注意点

- ・床下換気口、出入口、窓などの位置は記入しなくてもよい。
- ・検査不能箇所は斜線で囲む。
- ・被害の位置、種類は下記の記号を用いて示す。
- ・1マスは何cmとしたか記入すること。
- ・各部屋の名称を記入すること。
- ・北の方向(方位)を記入すること。
- ・検査ができなかった箇所は、斜線を引いた上で、検査できなかった理由を記載する。また合わせて「検査不能」と明記すること。
- ・蟻害、腐朽箇所は被害箇所に欄外の記号を用いて被害種類を示すとともに、部材名称と被害種類を言葉で明記すること。

凡例：蟻害 × 蟻道・蟻土 △ 腐朽 ⊗ 菌糸 ⊕ 子実体 ⊕